

**雑草甲子園が
あつたら、
うちは
きっと全国レベル。**

クズ はザクサ液剤で、しっかり防除!!

**厄介な
雑草に!!**

非選択性茎葉処理除草剤

ザクサ
液剤

夏の厄介な雑草、クズ。 葉から、茎からしっかり防除!!

梅雨も明け、本格的な夏を迎えました。ひまわりが日に日に背を伸ばす季節となりましたが、日に日に背を伸ばして欲しくないのが雑草です。

この時季、厄介な雑草と言えばクズ。その名前はかつて奈良県・吉野川上流の国栖(くず)が葛粉の産地であったことに由来しています。マメ科に属するクズは主根が太く繁殖力が旺盛、さらに夏にマルカメムシを引き寄せるイヤ～な雑草です。

でも、そんな強力なクズもザクサがあれば大丈夫。ザクサ液剤をしっかりと散布しクズを効果的に防除すれば、収穫の季節がいっそう楽しみです。

防除の ポイント

- ザクサ液剤100倍液を株全体にしっかりと散布しましょう。
- 成長が早いので、発見後素早く防除しましょう。

■ クズ(ザクサ100倍での除草効果)



● クズ(マメ科)

マメ科つる性の多年草。空き地、道端、林縁などに広く生育しています。根は年数を経ると太く長くなり、茎はつるになって成長し分枝しながら数十メートルまで伸びることがあります。葉は互生で長い柄があり3出複葉。小葉は草質で大きく幅広い形状、葉の裏側は白い毛を密生して白色を帯びています。

8～9月に濃紺紫色の甘い芳香を発する花を咲かせます。花色の白いものを「シロバナクズ」、淡桃色のものを「トキイロクズ」と呼びます。



雑草の種子が作られる前に! 水田畦畔の除草は秋処理が効果的!!

春、水田畦畔に発生する雑草は、昨年の秋に残った雑草の種子が土の中で越冬して一齐に発芽したものです。でも、春は耕起、代かき、田植えなどで非常に忙しい時期。なかなか除草まで手が回らないことも。そこで、秋にザクサ液剤を使ってしっかり除草。雑草が種子を作る前に、発生源を断ちましょう。秋に散布すれば、春、雑草の発生を抑えることができ、さらに農繁期における労力の軽減化にも繋がります。

しっかり枯らす! 長く枯らす!

ザクサ液剤の除草効果の特長は、雑草を素早く枯らすこと。通常、散布後1~3日で効果が現れはじめ、7~14日で効果が最大になります。草種によっては散布翌日に効果が現れます。そして、もう一つの特長は「抑草期間」と言われる枯らした状態を保つ期間が長いこと。1回の除草で長期間にわたり雑草を抑えることができるので、秋冬期に散布すれば、翌春までの長期防除が可能です。

■ザクサ液剤の除草効果



これがあれば、 除草剤の散布もラクラク!

畦畔除草剤散布をラク楽!!

楽々らくいち

- 散布幅680mmから1200mmで両サイドのノズルが角度調整付き。
- 3頭口で両サイドのノズルはストップ機能付きなので1頭口散布、2頭口散布が可能。
- 角度調整が付いているのでどんな傾斜の畦畔でも作業ができます。
- 1輪タイプですので安定散布。
- 背負バッテリー式動噴で使用できます。



除草をしながら
大切な作物をしっかりガード!

ガードマン

- 軽量・シンプルだから女性でも楽々作業。
- ソリ式なので安定した作業が可能、作物を傷める心配は不要。
- 取り外しに便利なワンタッチジョイント付き。
- お手持ちの背負動噴でも使用可能。



※資料提供:株式会社 麻場

甘藷の畦間除草にザクサ液剤をお勧めしています!

JA都城

JA都城は南九州の中核都市、都城市と三股町の1市1町からなる農業主体の地域を基盤としています。気象は年間通じて1日の最高気温と最低気温の格差が著しく、冬季の厳寒・夏季の暑熱は盆地特有の大陸型気候を呈しています。主な農畜産物は繁殖牛、肉用牛、生乳、肉豚、きゅうり、甘藷、里芋などで、畜産大国と呼ばれる宮崎県の中でも特に農業が盛んなところです。特に、甘藷は焼酎原料用の多くを生産。また、九州初のきゅうり選別設備を導入し、先進的な農業に取り組んでいます。



JA都城イメージキャラクター“へブエモン”

取材
協力

JA都城 南部グリーンセンター

宮崎県都城市早鈴町2111

